

高校
阿
倍
野
新聞

発行所
大阪市阿倍野区阪南
町一丁目30番34号
大阪府立阿倍野高校
新聞部
編集責任者 石橋奈佳
発行責任者 高萩治子

折れるより
曲がれ

旅立ちを迎えて

今日、それぞれの想いを胸に巣立ってゆかれる皆さん、御卒業おめでとうございます。卒業にあたって、校長先生、教頭先生をはじめ各クラスの担任の先生方から、励ましとお祝いの御言葉をいただきました。

校長 中西昭次



昨年の初夏、東京出張の帰り甲州路へ足をのびしてみた。山梨県立美術館に常展のミレー作品をまよく「夕暮れに羊を連れて帰る羊飼ひ」等の名画に直接触れたい気持ちが自然と足を向けさせたのに違いないが、それとは別に甲斐武田氏の廟所、乾徳山恵林寺も訪れてみたいお寺の一つであった。

仕事に自信をもち、集団の一員として気配りを忘れず、それでいて、潤いとゆとりのある充実した人生を送って下さい。

一組擔任



「軍勝は五分をもつて上とし、七分をもつて中とし、十分をもつて下とする。その故は五分ならば励を生じ、七分ならば怠意を生じ、十分ならば驕を生じるがためなり。戦に限らず人生、世の中のことにすべてこの心がけが肝要なり。」

ご多幸を心から祈念する。

卒業おめでとう。新しい社会へ出発しようとしている諸君へ、まず三年間の高校生活を振り返ってみてほしい。

勉強やクラブ活動等君達が思い描いていたように過ご



就職内定状況

就職内定状況

五十九年度の就職内定者が決定した。今年の就職内定生数は、三年生が七クラスであつたために昨年よりも少なかったその上、年々社会は不況の時代で厳しく企業側からも優秀な人材をよきうて確保しようとしてゐる、就職難を乗り越えるのは容易でなかつたようだ。

五十九年度の一般企業の就職内定者数は次の通りである。

す。お元気で。



一谷英晴先生



人と人との結びつきには
どういうものがあるのだろ
うか？

阪口久和先生



卒業おめでとう！あつた
言う間の三年間でした。は
れど、三年前と今のあな
を較べると、心身ともに上
きく変化していることに

二組担任



宇田俊秀先生



諸君は、私が阿倍高の教師となつて卒業生を送り出す第一号です。私にとっていつまでも忘れられない卒業生となることではないやう。

体育授業、又諸行事を通して望んで来たことは、時間を守る、礼儀正しく、そして義務も責任も進んで果します。そして僕も頑張り

クに変化する時期は人生においても数少ないのですしかし、その時期にあなは一体何を学ぼうとし、何を学んだのだろうか。

あたりまえのことだがこれ（卒業、で終りなのは）はない。実は、これからのだ。今後のあなたの生方で、この三年間に何をんだかまた学ばなかったが厳しく問われるでしよあなたの御建闘を折つてます。そして僕も頑張り

五組担任



卒業おめでとう。
今朝は空も木も友達も懐かれかけの校舎さえも格別に見えたのではありませんか？
みんなの顔がこんなに眩しい。

柴山美恵子先生



小白



初めでです。——利己主義者が非情に思われるのは、彼に愛情とか同情とかがないためであるためである。そのように想像力は人生にとって根本的なものである。人間は理性によって動物から区別される。愛情ですら、想像力なくして何物であるか。——明日からまた繰り返される普通の日の中でも生き生きと輝けるように贈ります。愛情は想像力によって量られる。——三木清

石川信子先生



石川信子先生

小泉育代先生

三十七其生の皆さん、御卒業、御目出度う御座居ます。この三年間を振り返ってみれば、瞬く間に過ぎ去ってしまったという感を強く持たれたことでしょうか。恐らく、今後は更に加速度的に時が経ってしまうように感じられることと思います。光陰矢の如しとか、階前の梧葉が秋声となつてしまわぬうちに、自分なりの何等かの生き甲斐を見つけ頭わくば、それを達して欲うことはすべてを失うことである。」を贈りたいと思居います。有機會成などで何日も苦勞をして作った物質を予期しない事で失った場合でも同じ事で、失敗をして出直す勇氣、やる気を持つ事ができれば大丈夫です目標に向つて自分で考え、工夫して努力すれば道は自然に拓けると思います。健康に注意して、明るく豊かな心で暮して下さい。

大和運輸

(五十音順)

公務員の就職内定者数も 総受験者六十二名中、合格 者六名（一次合格者二名を 含む）という厳しいもので あった。	大阪府警 二名（〇名）
五十九年度の公務員の受 験者数及び、就職内定者数 は次の通りである。（カッ コ内は内定者数）	大阪府交通局 五名（一次合格二名）
国家公務員初級	大阪市立学校実習助手 五名（三日発表）
十五名（三名）	大阪市消防 四名（〇名）
大阪府	郵政外務 一名（〇名）
堺市	防衛庁 一名（〇名）
吹田市	多くの就職難を突破し、 社会へ飛び立たれる皆さん おめでとうございます。一 日も早く自分の力を十分に 発揮できるように頑張つて 下さい。
二名（〇名）	
東大阪市	

針灸

春四月一学生にとつては進級、進学、就職の時期である▼そして今のこの時期には卒業式、終了式などに行事がある▼卒業式は、高校生活のしめくくりとして、大きな意味をもつ。また、終了式も新しい学年への転期として、心を入れ替えるのに良い機会である▼高校の卒業式というのは実に感動的なものである。涙にむせぶ卒業生たちの姿は、早稲穂の穂を揺るがしている者の心を揺るがすことがある▼しかし、その行事もあくまで表面的なものではない。ただ阿倍高み生としての籍を抜くだけであつて、心の卒業、までするわけではないのである。終了式にしても同じことがいえる。言つてしまえば、*「与えられた課程を終了した、だけなのだ」*。ゆるぐ杭は抜ける、というわざがあるのを知っているだろうか▼*「精神が落ち着いているものは、事をし損ない」*。精神が定まることはないが、精神が定まらぬ者は、ついに身の不利をきたす」といった意味である▼進級にしても、進学、就職にしても、新しい進路を迎えた時、*「どうしよう、何とかしなくては」*と思つているだけでは何も前へ進まない▼心を落ち着かせ、自覚を持つて、*「自分は今何をすべきか、どうすれば良いか」*を考え、それを実行出来る態勢にもつて行くべきである▼それには、やはり、心の切り替えが必ふ必要である▼*「卒業式、終了式」*といった大きな節目を機に、ぜひ、心の卒業式、終了式も迎えて欲しいものだ▼ゆるぐ杭は抜ける。三年間、少しづつで、少しずつ、少しづつ、大地に打ちつけてきた埴花である。どうか決して抜けない、立派な杭となつて、それぞれの道で頑張つて欲しい。

部 説

忠